

「アジア共同体を考える」

アジア全体の政治経済を理解する総合的な講義として例年好評の「アジア共同体を考える」。今日のアジアが直面する問題を様々な角度から検討します。講義は、学会や実務の世界で活躍する学外の講師と本学の教員によるリレー形式で行います。

(*世界教養プログラム／総合科目として全学生が履修可能)

10/29(月)

志田仁完 (ERINA(環日本海経済研究所)
調査研究部研究主任)

「北東アジアとロシアの経済関係」

11/ 5(月)

興野敦郎 (三菱地所専務)

「なぜ日本の不動産会社は ASEAN を目指すのか? : 三菱地所のアジア戦略」

11/12(月)

棚田京一 (デルフィス社長、前トヨタ常務)

「海外マネージメント
～アジアでの現場経験より」

11/19(月)

佐藤洋治 (ワソアジア財団理事長)

「やがて世界はひとつになる」

12/ 3(月)

丹羽泉 (本学大学院総合国際学研究院教授)

「朝鮮半島情勢を考える」

<以降の講義予定>

12/10(月) 松長昭 (現代イスラムセンター理事)
「中央アジア共同体ができる可能性? 一带一路、中央アジア域内の現状」

12/17(月) 大庭三枝 (東京理科大学教授)
「東アジア地域秩序の変容と日米中 ASEAN (仮)」

1/ 7(月) 山本吉宣 (新潟県立大学政策研究センター教授、東京大学名誉教授)
「東アジア共同体の新しい役割—激変する国際環境に抗して」

1/21(月) 大西康雄
(アジア経済研究所新領域研究センター上席主任調査研究員)
「中国の一带一路構想の現状(仮)」

* 敬称略・題目変更の可能性あり *

秋学期
月曜 2 限
(10:10-11:40)

227 教室

一般公開

(事前申込不要・参加費無料)

お問合せ：国際関係研究所 iir@tufs.ac.jp